

授業科目	*看護学概論				単位	2		
履修	必修	関連資格	高一種免(看護) 養教一種免		ナンバリング	NU11201J		
開講年次	1	開講時期	前期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP3-1 DP3-2 DP4-1			
担当教員	金山 正子							
授業概要	【実務家教員担当科目】 看護・看護学の発展過程を踏まえ、看護の定義・本質、看護の職業の位置づけ、看護の対象及び健康への理解を深め、看護教育の多様なレベル、看護の役割・専門性について概説する。さらに看護の理論、研究、実践の関係を理解し、看護学・看護学の現状と方向性を考える。看護の実務経験を活かした最新の看護の現状や動向を取り入れ、講義で概説する。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.看護の定義を述べることができる。</li> <li>2.「人間」を統合体として捉える意味を述べることができる。</li> <li>3.「人間」「環境」「健康」「看護」の概念を述べることができる。</li> <li>4.看護実践の基盤となる法律を述べることができる。</li> <li>5.看護教育制度の概略を述べることができる。</li> <li>6.保健・医療・福祉システムにおける看護職の役割を述べることができる。</li> <li>7.看護実践における倫理の重要性を述べることができる。</li> <li>8.災害看護の必要性を述べることができる。</li> <li>9.今後の看護の方向性と課題を述べることができる。</li> </ol>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	0	30	10	0	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	30						30	
知識・理解 (DP1-2)	30		15	10			55	
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			5				5	
関心・意欲 (DP3-2)			5				5	
態度(DP4-1)			5				5	
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
看護・看護学の基本的知識を理解し、説明することができる(行動目標 1)~9)。個人学習とグループワークによる学習を行い、積極的に発表、意見交換等を行うことができる。課題レポートを作成し、今後の課題について考え、述べるができる。				<ol style="list-style-type: none"> <li>1.看護の定義を述べることができる。</li> <li>2.「人間」を統合体として捉える意味を述べることができる。</li> <li>3.「人間」「環境」「健康」「看護」の概念を述べることができる。</li> <li>4.看護実践の基盤となる法律を述べることができる。</li> <li>5.看護教育制度の概要を述べることができる。</li> <li>6.保健・医療・福祉システムにおける看護職の役割を述べることができる。</li> </ol>				

			7.看護実践における倫理の重要性を述べることができる。 8.災害看護の必要性を述べることができる。 9.今後の看護の方向性と課題を述べることができる。
授業計画			
進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 予習・復習時間(分)
1	はじめに:授業概要の説明 テーマ:人間科学としての看護学 看護とは何か、看護学とは何かを考える。 看護の歴史的変遷から看護の定義や概念を概説し、 看護とは何かを考える。 ナイチンゲールとヘンダーソンの功績を理解する。	講義	復習:学習の進め方を復習する。「看護の定義」について、該当部分の教科書を読んで理解する 次回講義までの予習: ※課題レポート① 看護の概念(人間・環境・健康・看護)について、レポートを作成する。
2	テーマ:看護の概念(人間、環境、健康、看護)について 課題レポート①、教科書等を活用して、人間とは何か、人間の「こころ」と「からだ」の関係、成長・発達について、人間の基本的ニード、生活者としての人間について考え、意見交換をする。	講義、グループワーク、発表	復習:講義内容に関する教科書の該当部分を読み、理解する。 予習:次回講義での意見交換ができるように準備する。 ナイチンゲール「看護覚え書き」、ヘンダーソン「看護の基本となるもの」を読む。
3	テーマ:看護の概念(人間、環境)、健康、看護)について ・本時では、レポート①をもとに、健康とは何か、健康の定義、国民の健康状況、環境とは何か、環境の定義、環境と健康、健康と生活について考え、意見を交換する。 ・ここでは、人間、環境、健康、看護の概念の、相互関係について考える。	講義、グループワーク、発表	復習:講義内容の復習 次回の講義までの予習 ※課題レポート② ナイチンゲール「看護覚え書き」およびヘンダーソンの「看護の基本となるもの」を読み、次回講義までにレポートを作成する。
4	看護の概念について ナイチンゲールの「看護覚え書き」、ヘンダーソンの「看護の基本となるもの」を読み、看護に対する考え方について、各自の課題レポートをもとに、意見交換をする。	講義、グループワーク、発表	復習:ナイチンゲールとヘンダーソンの考え方を比較し、自己の考える看護との違いを考える。 ※指定日までにグループ学習成果発表の資料を作成し、提出する。
5	テーマ:看護の概念と看護理論 -グループ学習成果発表と意見交換 人間・環境・健康・看護の4つの概念とナイチンゲール、ヘンダーソンの看護の考え方について、グループで学習成果をまとめ、クラス全体で発表し、意見交換を行う。	講義、グループワーク、発表	予習:グループで学習成果発表の準備をする。また、他のグループの学習発表資料を読み、質問や意見交換の準備をする。 復習:グループ学習の振り返りをする。 ※課題レポート③自己の看護観について、次回講義までに作成する。
6	テーマ:看護の役割と機能 法的・倫理的責任、チーム医療における連携と協働、患者の自立支援、ケアリングの役割と機能、看護が機	講義	復習:教科書の該当部分を読む。 予習:教科書「看護職の倫理綱領を」読み、理解する。

	能する場と看護活動、看護の役割拡大・機能の拡大について概説する。			
7	<p>テーマ: 看護における倫理 職業倫理としての看護倫理の重要性、患者の基本的 人権と権利擁護について概説し、インフォームドコンセ ントおよび患者の意思決定支援、個人情報の保護お よび守秘義務、現代医療における倫理的問題などにつ いて概説する。</p> <p>また、看護倫理の原則と看護者の倫理綱領について 理解し、倫理的課題について考え、倫理的課題への 対応について考える。</p>	講義、グループワ ーク、発表	復習:教科書「看護における倫 理と法」を読み、理解する。 ※課題レポート④講義中に指 定した事例について考え、次 回講義までにレポートを作成 する	90
8	<p>テーマ:看護の役割と機能:保健・医療・福祉の連携 医療保険制度、福祉制度、チーム医療の必要性と意 義、多職種連携、地域包括システムにおける看護職 の役割などについて概説する。</p>	講義	<p>予習:教科書「保健医療福祉 の連携」を読む 復習:教科書「地域包括システ ムケアシステム」を読む。</p>	90
9	<p>テーマ:医療安全 医療事故と医療安全、看護における医療事故と対 策、医療安全への取り組みなどについて概説する。</p>	講義	予習と復習:教科書「医療安 全」を読む	90
10	<p>テーマ:看護制度と看護行政 看護職者に関わる法制度について、保健師助産師看 護師法を中心に概説し、医療法、労働にかかわる法 などの関連法について概説する。</p> <p>また、看護行政と看護の人員配置基準と診療報酬制 度、看護管理などについて概説する。</p>	講義	<p>予習と復習:教科書「看護制度 と看護行政」を読む 復習:講義内容の「診療報酬 制度」と「看護人員配置基準」 について理解する。</p>	90
11	<p>テーマ:専門職としての看護、看護教育制度 専門職としての看護、看護職の資格と養成制度、看 護基礎教育制度、継続教育と専門看護師・認定看護 師・認定看護管理者、看護職のキャリア開発などにつ いて概説する。</p>	講義	予習と復習:教科書の「専門 職としての看護」を読む	90
12	<p>テーマ:災害における看護 災害看護の概念、災害と健康について概説する。ま た、災害サイクルにそった看護活動について概説し、 看護職の役割について考える。</p>	講義	予習と復習:教科書「災害にお ける看護」について読む。	90
13	<p>テーマ:グローバル社会と看護 異文化の理解、レイニンガーの文化ケア理論、健康と 保健医療の世界的課題、国際協力などについて概説 し、看護活動の場と役割の拡大について考える。</p>	講義	復習:講義内容を理解する レポート課題⑤「今後の看護 の方向性と課題」についてレ ポートを作成する(次回講義時 に意見交換)	90
14	<p>テーマ:今後の看護の方向性と課題について、各自の レポートをもとに、意見交換と発表を行う。</p>	講義、グループワ ーク、発表	<p>予習:レポートの課題につい て、発表できるように準備す る。 復習:講義内容の整理をする。</p>	30
15	授業のまとめ	講義	予習および復習:授業資料の まとめとファイリング	
16				
17				
18				
19				
20				

21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	看護学科に入学して初めて学ぶ看護専門科目です。教科書や資料に出てくる単語や専門用語などは、専門の辞書や図書などで調べて下さい。また、レポートは指定日までに作成して提出して下さい。			
テキスト	1.宮脇美保子編：新体系看護学全書 基礎看護学①看護学概論、第5版、メヂカルフレンド社、2021年 2..F.ナイチンゲール著、小玉香津子・尾田葉子訳：看護覚え書、本当の看護とそうでない看護、日本看護協会出版会、2019年、新装版 3.V.ヘンダーソン著、湯槇ます・小玉香津子訳：看護の基本となるもの、日本看護協会出版会、2020年、再新装版 4.宮脇美保子総監修：新体系看護学全書 準拠 基礎看護学まとめノート、第1巻 看護学概論/臨床看護総論、メヂカルフレンド社、2022年			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	参考図書 その他、参考図書はその都度紹介し、教材については、必要に応じて資料を配布します。 看護関連情報は、インターネットで信頼できるサイトを選び、参照して下さい。(例ー厚生労働省や日本看護協会のホームページなど)			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	看護学だけでなく、看護学以外の学問の図書や文献を読んだり、社会の中のさまざまな情報からも、必要な知識を得て学習して下さい。			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	試験(60%),レポート(30%),発表(10%)で評価します。レポート提出方法や講義中の意見交換などの内容については、授業の中で示します。 課題に対するフィードバックは、次回の講義で提出物を返却し、質問に対する回答をします。			